HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	巻頭言
Author(s)	榎本, 芳人
Citation	年報 公共政策学, 12, 1-1
Issue Date	2018-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/70307
Type	other
File Information	APPS12_01.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

巻 頭 言

本誌『年報公共政策学』は、公共政策に関する研究成果の発表、ならびに実践と研究を通じた公共政策学の発展を目的として北海道大学公共政策大学院によって発行されており、本号で第12号となります。

私は、本誌には大きく３つの役割があると考えています。

第１は、本学公共政策大学院の活動についてお知らせをする媒体という役割です。本号においては、昨年12月に開催された講演「北海道の医療の現状と課題」の概要や、昨年８月に開催された地方議員並びに地方公務員向けのサマースクールの模様、その他、各種セミナー、事例研究の授業についての活動報告が掲載されております。

第２は、公共政策学に関する研究成果を公表する場という役割です。本誌は、本学公共政策大学院の教員・院生のみならず、幅広い研究者や実務家に門戸を開いており、本号においても、本学公共政策大学院の教員に加えて、外部の研究者および実務家から論文を投稿いただいております。論文の内容は、最近の法律改正に関する事項や実態調査等、国内の政策課題に関するものから国際的な人口移動に関するものまで、幅広い分野にわたっています。さらに、本誌は、和文のみならず英文の論文投稿も受け付けており、国際的な研究成果の発表が可能となっております。

第３は、本学公共政策大学院の院生に対して、履修の一環として作成した成果物を公表する機会を与えるという教育的な役割です。本学公共政策大学院においては、リサーチペーパーを執筆することが修了要件とされていますが、リサーチペーパーのうち、内容が優れたものについて、本誌に掲載することとされています。

本学公共政策大学院は、今年で開学から14年目を迎え、「文と理の融合」「理論と実践の架橋」「「グローカル」な視点」「北海道発の公共政策」という４つのキーワードの下、研究および教育が行われています。本誌が、本学公共政策大学院における研究教育に資するものとなるよう、今後とも努力を重ねていきたいと考えております。本誌の発行にあたりご協力をいただきました皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

榎本　芳人
北海道大学公共政策学研究センター長・教授